

## 「地域の中で自分ができること」

気仙沼市立松岩中学校3年

佐藤 優香さん

「おかえり」学校帰りの私に近所の方が声を掛けてくれます。私の家は小高い丘の途中にあり、家に着くには50mほどの坂を登ります。坂の両脇には近所の皆さんの自宅があり、小さい頃からその坂を登っていました。幼稚園の頃は母と一緒に登った記憶があります。近所のおじさん、おばさんがいつも話し掛けてくれ、私と母は立ち止まってお話をしていました。私は自分から話すことができず、母の陰に隠れることが多かったのですが、「ただいま」と、挨拶は大きな声でできていたそうです。

小学生になってからは、近所に同級生がいない私は一人で帰ることが多くなり、とても不安で心細かったことを覚えています。でも、そんな心配はすぐに吹き飛びました。近所の皆さんから声を掛けていただいたのです。「おかえり」「学校、どうだった？」時には、「お土産」にお菓子や野菜、果物をもらうこともありました。冬の早朝、雪が積もった時には、下り坂の雪かきが終わっています。父からは、「朝の6時には雪かきが終わっていたよ。優香たち、小学生が転ばないようにと早起きしてかいてくれているんだね」と教えられました。

私は小さい頃から地域の多くの人に育てられたんだと実感しています。声を掛けていただき、多くの人々の温かい気持ちに見守られて成長することができ、本当に幸せなのだと感じています。また、挨拶をすることや、地域の人と交流することの大切さなど、社会生活の基本を教えていただいたのだと思います。家庭、学校だけでなく、近所の皆さんが私にとっての先生であり、学びの場だったのだと気付きました。今、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、この地域で生まれ、育ったことをとても嬉しく思っています。

私は中学三年生となり、私の両親や近所の皆さんも年を重ねました。先日、近所の人から声を掛けられ、天気の話から始まり、いろいろなお話をしました。こんなにお話ができるなんて、自分も成長したなと感じました。家に帰ってそのことを父に話すと、「優香はこれまで、多くの人に見守られてきたけど、これからは近所の皆さんのために出来ることもありそうだね。大人に近づいてきたんだね。」と言われました。私は地域のために自分ができること、役立てることを考えるきっかけとなりました。今、私は大きな声で挨拶をすることを心掛け、時には地域のごみ拾いも始めました。自分が地域の皆さんに見守られて成長できたからこそ、今度は地域の中で自分ができることを考え、実行していきたいと思っています。そして、地域の皆さんが安全に・安心して暮らしていける地域作りを目指していきたいです。